

境港ニュース

発行 境港貿易振興会

〒684-0046 鳥取県境港市竹内団地255-3 TEL (0859) 47-3905 / FAX (0859) 47-3906
E-mail sptpa@sanmedia.or.jp URL http://www.sakaiminato-faz.co.jp/

境港利用促進懇談会を開催しました

境港貿易振興会は、コンテナ貨物や旅客の増加に加え、港湾整備が進む“境港”の現状や、今後の計画について、多くの皆さまに知っていただくため、毎年、利用促進懇談会を開催しております。今年は、大阪市と地元の鳥取県・米子市で実施しましたので、ご報告いたします。

大阪会場

- 開催日 平成26年9月4日(木)
- 場 所 大阪新阪急ホテル(大阪市北区)
- 参加者 約130名

関西圏に集積する海外取引の利用港の決定権を持つ本社、商社並びに物流企業等を対象に、境港の現状、及び定期航路の利用促進を図るための各種助成制度などを紹介しました。



<挨拶をする中村会長>

中村会長(境港市長)は挨拶の中で、2013年のコンテナ貨物量が過去最高を記録するとともに、外航クルーズ客船の寄港回数の増加により、境港における人とモノの流れが拡大していることを説明。加えて、国際物流ターミナルに続き、貨客船ターミナルの整備事業の実現を目指していることに触れ、「背後圏との交通アクセス網として中国横断自動車道の順次開通により、境港の利便性が高まっている。境港について認識を深め、利用を検討していただきたい」と呼びかけました。

その後、関西大学 商学部教授 飴野仁子先生に「地域と世界をつなぐ物流インフラの可能性」と題してご講演をいただきました。

日本海側各港湾は、互いに集荷圏を奪い合うのではなく、港湾間のネットワーク強化を図りつつ、存在をアピールしていくことが重要だ。「境港」は、アジア市場へのロケーションの良さに加えて、地域の人材、産業特性、港湾インフラ、その背後圏とのスムーズなアクセスなど、複合的な特性を活かすことこそが、目まぐるしく変化する社会経済環境に柔軟に対応でき、未来を導くとの見解を述べられました。

講演後の懇親会では、山陰両県の特産品などを召し上がっていただきながら、情報交換等の場としてご利用していただきました。



<講演中の飴野教授>

～平成26年度 境港利用助成制度の申請期限についてのお知らせ～

当会が実施しております、境港利用助成制度につきまして、平成27年3月31日までの境港利用分は平成27年4月10日までに申請していただくことが必要です。申請を予定されている場合は、ご留意ください。

●平成26年4月1日～平成27年3月31日 境港利用分 申請書提出締切：平成27年4月10日(当会必着)

※本制度は予算範囲内の助成となります。申請をお受けできない場合もございますので、あらかじめご了承ください。

米子会場

- 開催日 平成26年11月28日(金)
- 場 所 国際ファミリープラザ(米子市)
- 参加者 約60名



<講演中の成田所長>

“境港”の後背圏の企業等を対象に毎年開催している境港利用促進懇談会を、今年は4年ぶりに鳥取県米子市で開催しました。

今回の懇談会では、今後の境港利用のご参考にしていただくため、境港における港湾機能強化の取組や利用助成制度に関する説明に加え、共催団体である日本貿易振興機構(ジェトロ)鳥取貿易情報センター所長 成田裕介氏が「日本企業を取り巻く国際ビジネス環境とチャンス～海外市場開拓に向けての心構え～」と題して講演、今後の海外展開の参考となる情報提供や助言を行いました。

大阪会場、米子会場ともに多くの方々にご参加いただき、様々なお話を伺うことができました。

当会としましては、懇談会当日に伺ったお話を参考にしながら、貿易支援機関と協力・連携し、より多くの方々に境港を利用して頂けるよう、利用促進活動に取り組んで参ります。また、今後も企業訪問を通して様々なご意見を伺ってまいりますので、引き続きご協力をお願いします。



境港の利用促進の取り組みをご紹介します。

当会では、境港の利用促進を図る取り組みとして、各地で開催される展示会に出展しています。

今年度は、これまでに9月、11月に開催された展示会に出展しました。

会場では、パネル展示やチラシ配布に加え、他の出展ブースへの訪問などを通じて境港に就航する定期航路の周知を図ったことにより、後日、境港利用に関するお問い合わせをいただくなど、一定の効果がありました。その一方で、定期航路を知らなかった、という声も聞かれ、境港についてまだまだPR不足ということも痛感しました。



<展示会の様子>

出展企業や来場者など、多くの方々と接することのできる展示会に出展することは、新規貨物の掘り起こしや境港の利用拡大を図ることのできる良い機会ですので、当会では引き続きこのような展示会に出展し、境港や定期航路のPR活動に取り組んでいきます。

<H26年度これまでの出展>

名 称	開 催 日	場 所	来場者数
とっとり産業 フェスティバル2014	平成26年 9 月26日(金) 平成26年 9 月27日(土)	米子コンベンションセンター BIG SHIP(米子市)	1,222名
元気を出そう 中小企業展示会	平成26年11月16日(日)	米子産業体育館(米子市)	出展企業数 68社

<H26年度今後の出展予定>

名 称	開 催 日	場 所
中四国ビジネスフェア2015	平成27年2月6日(金)～2月7日(土)	広島市中小企業会館総合展示館



極東ロシア(ハバロフスク及びウラジオストク)を訪問しました

「第16回沿アムール地域商工業見本市」(於：ハバロフスク・期間：平成26年9月25日～28日)、「2014山陰ブランド展inロシア」(於：ウラジオストク・期間：平成26年9月26日～27日)の開催された時期にあわせて極東ロシアを訪問しました。現地では、経済、行政関係者など多くの方々とお会いし、境港と極東ロシアを結ぶ環日本海圏国際フェリー航路を利用した地域間交流について意見交換を行うとともに親交を深めました。

最初の訪問地となったハバロフスクでは、アムール地域商工業見本市を視察しました。見本市にはロシア国内外から約150ものブース出展があり、日本からは唯一の出展となる鳥取県のブースも大変にぎわっていました。また、ハバロフスク地方政府を訪問した際には、「鳥取県はハバロフスクにとって重要なパートナーのひとつとして認識している」という発言もあるなど、極東ロシア地域との交流拡大の可能性を強く感じました。



<ハバロフスク地方政府表敬訪問>



<アムール地域商工業見本市の会場の様子>



<アムール地域商工業見本市鳥取県ブース>

続いてウラジオストクを訪問しました。同地では、これまでも鳥取、島根両県ともに展示会の開催等により、経済交流の促進が図られていましたが、今回は、鳥取県産業振興機構と中海・宍道湖・大山圏域市長会が初めて「山陰ブランド展inロシア」を共催されましたので、その様子をご紹介します。



2014山陰ブランド展inロシアが開催されました



平成26年9月26日(金)から27日(土)にかけて、ウラジオストク市のウラジオストク国立経済サービス大地下ホールで、「2014山陰ブランド展inロシア」(主催者：公益財団法人鳥取県産業振興機構、中海・宍道湖・大山圏域市長会)が開催されました。

展示会場には、山陰両県からの出展品を熱心に購入されるウラジオストク市民の方々に加え、鳥取空港発のチャーター便を利用して訪露された鳥取県内企業の方々が視察され、山陰両県の商品に対する現地の高い評価に、ロシアビジネスへの関心を持たれたようでした。また、出展者の中には、ウラジオストク市内の企業と商談される企業もあり、販路開拓のきっかけになったようです。



<会場入口>



<会場の様子>



<カレーを買い求める人々>

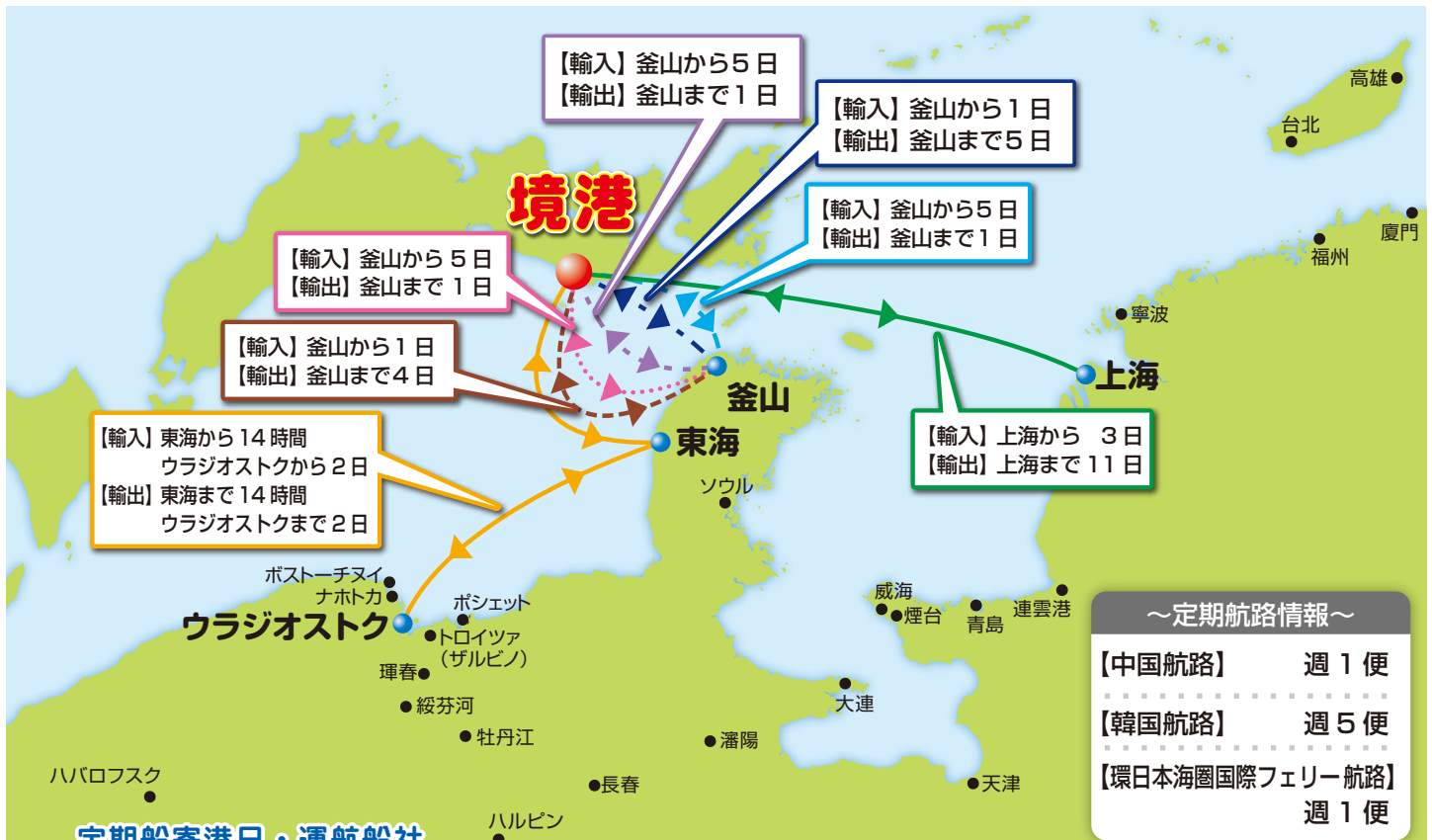
鳥取県産業振興機構(とっとり国際ビジネスセンター)によると、昨年開催した展示会の会場とは異なる場所での開催となり、アクセス面の影響により来場者数は少し減ったようですが、購買意欲を持って来場された方が多かったとのことでした。

<協力：鳥取県産業振興機構(とっとり国際ビジネスセンター)>

境港定期船運航図

境港に寄港している定期船のスケジュール

(2014年12月)



日	月	火	水	木	金	土
	中国 神原汽船(株)		韓国 長錦商船(株)		韓国 高麗海運(株) 韓国 興亜海運(株) 環日本海(入港) DBSクルーズフェリー(株)	韓国 高麗海運(株) 環日本海(出港) DBSクルーズフェリー(株)
	韓国 高麗海運(株)					

★釜山・上海トランシップにより、東南アジア・中国各港および欧米等世界各地への接続も可能です。詳しくは各境港代理店までお問い合わせください。

当会のホームページから、境港定期船運航図の詳細についてご覧いただけます。<http://www.sakaiminato-faz.co.jp/>

具体的な見積り等についてのお問い合わせ先 ～通関からお手元までトータルなサービスを提供する地元企業～

企業名	業務	連絡先
境港海陸運送 株式会社 (神原汽船(株)、高麗海運(株)、長錦商船(株) 境港代理店)	荷役 通関 保管 運送	TEL 0859-42-2126 FAX 0859-47-0088 http://sakaiminato-kairiku.com/
株式会社 上組 境港支店 (興亜海運(株)、DBSクルーズフェリー(株) 境港代理店)	荷役 通関 保管 運送	TEL 0859-45-8707 FAX 0859-45-7182 http://www.kamigumi.co.jp/
株式会社 ミック 山陰支店 米子営業所	通関 保管 運送	TEL 0859-37-6771 FAX 0859-37-6772 http://www.mikcorp.com/
株式会社 ニューウェーブ インターナショナル	貨物集荷代理店	TEL 0859-38-1150 FAX 0859-38-1157 http://www.new-wave-int.jp/

関係機関が相互に連携して、いろいろなご相談に応じます

機関名	主な業務	連絡先
境港貿易振興会	ポートセールス (利用助成制度)	TEL 0859-47-3905 FAX 0859-47-3906
境港管理組合	港湾施設管理	TEL 0859-42-3705 FAX 0859-42-3735
とっとり国際ビジネスセンター (公財)しまね産業振興財団	貿易サポート	TEL 0859-30-3161 FAX 0859-30-3162 TEL 0852-60-5114 FAX 0852-60-5105
ジェトロ鳥取貿易情報センター	海外56カ国74事務所のネットワークを活用した国際ビジネス情報の提供・相談・企業支援	TEL 0857-52-4335 FAX 0857-52-4336
ジェトロ松江貿易情報センター		TEL 0852-27-3121 FAX 0852-22-4196